

二学期の振り返り

二学期、様々な行事を実施しました。本校の令和6年度のスローガンである「Connect:つなぐ・つながる」に則り、地域社会や様々な機関との「つながり」を生む活動、また、児童・生徒の将来へ「つながる」ことも意識し、進路指導・進路支援にも積極的に取り組んできました。

デジタルの学びと並行して体験的な学習を大切にし、実際に「ふれる」「みる」「きく」学びにも取り組み、「生きる力」の育成を目指しています。

スポーツ教育の推進

江戸川区との連携

10月19日(土)・11月30日(土)と、江戸川区と連携し、パラスポーツ交流会が行われました。



10月19日

S部門の児童・生徒対象に行われました。マイティポールやボルレッチを用いて、ストレッチを行ったり、ボールを使ったゲームを行ったりする中で、地域の方とのコミュニケーションを楽しむ様子が見られました。



11月30日

S部門・N部門合同で実施をしました。N部門とS部門の児童・生徒が交流し、ボッチャを楽しみました。普段なかなか関わる機会の少ない友達とスポーツを通して触れ合うことができ、充実した取組となりました。

外部との連携

堀江車両電装株式会社や東京ヴェルディと連携し、大型野球盤(ユニバーサル野球)やサッカー教室を実施しました。



N部門中学部の生徒が上一色中学校の生徒と交流し、大型野球盤＝ユニバーサル野球を行いました。上一色中学校の生徒の力強い声援を受けて、本校中学部生徒も気合が入ったようです。笑顔あふれる活動となりました。

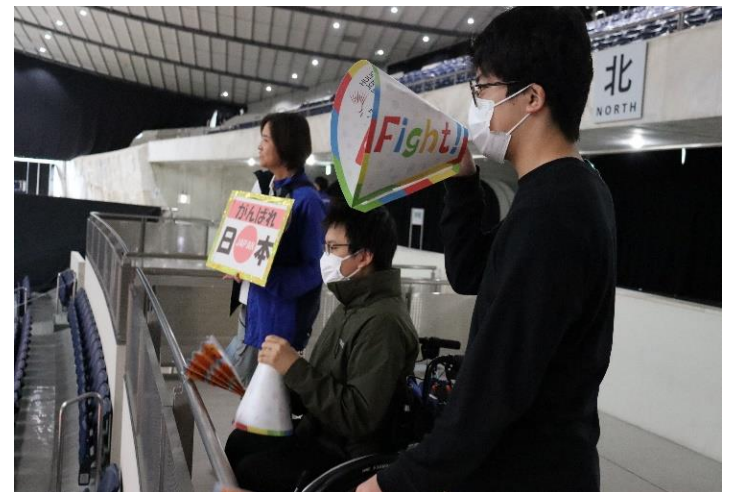


東京ヴェルディの方に講師として来ていただき、サッカー教室を行いました。導入から様々なゲーム性のあるウォーミングアップに取り組む中で、生徒たちも徐々に体も心もほぐれて、意欲的にサッカーの体験を行うことができました。

プロスポーツ選手との交流

江戸川区を拠点としている日本パラバドミントン協会と連携し、出前授業に来ていただきました。

実際にパラバドミントン国際大会の観戦に行ってきました。



日本パラバドミントン連盟アンバサダーの島田務選手に御来校いただきました。パラバドミントンを通じて「共生」について体験的に、学ぶことができました。

10月22日、S部門中学部・高等部のCグループが代々木第一体育館で行われたパラバドミントン国際大会の観戦に行ってきました。トップ選手の車いすさばきやスマッシュに感嘆したり、メガホンなどの応援グッズを用いて大きな声で日本人選手を応援したりするなど、心から楽しみ、学習しました。

移動動物園(動物のふれあい事業)



12月3日(火)・5日(木)の二日間で、江戸川区環境財団様及び江戸川区篠崎ポニーランド、江戸川区自然動物園と連携し、移動動物園を実施しました。TCA東京ECO動物海洋専門学校の学生さんもボランティアで参加してくださいました。参加者は児童生徒487名、内約90名の児童・生徒がポニーの乗馬体験を行いました。また、保護者の方や近隣の関係機関の方は、計70名程御参加いただきました。

学校のグラウンドにポニーが登場、体育館にはウサギとモルモットが待っており、児童・生徒は驚きと喜びでいっぱいな様子でした。



体育館の中では、自然動物園のうさぎとモルモット。「かわいいね!」「思ったより大きい!」と児童・生徒から気づきの発言がたくさん出ていました。

デジタルの学びと並行し、「自然に触れ合うこと」や「実際に見る、聞く」といった体験的な学びも大切にしています。

進路指導・進路支援

12月3日から9日まで「障害者週間」ということで、タワーホール船堀にて江戸川区就労フェアが行われました。高等部Dグループが参加しました。



船堀駅を降りると駅前では、白鷺特別支援学校の生徒による販売ブース。元気のいい呼び込みで溢れていました。



ホールでは、はじめに日本理化学工業株式会社 社長 大山隆久様の御講演がありました。社員96名の内障害者の雇用が69名 粉の出ない現代版チョコの開発を行っている会社です。「皆働社会の実現」に向けて、大事にしている理念や具体的な工程改革についてのお話がありました。

イベント会場は、江戸川区の各事業所のブースが立ち並び、中、「キットパスを使って自由に絵を描こう」のコーナーもありました。



自分で気になった事業所のブースへ行き、説明を聴いたり、実際にパソコンを操作したりと意欲的に参加しました。最後に、面接ブースにて面接体験に参加することができました。緊張しながらも、自分たちの将来に向けて考える良い学習の機会となりました。次年度はN部門中学部も参加できるように計画を立てていきます。



大学との連携

東京未来大学及び東京電機大学と連携し、理工系の研究と連携し、デジタル教材の開発に連携して取り組んでいます。医療的ケアや自立活動について知ってもらい、特別支援教育の啓発にもつなげています。

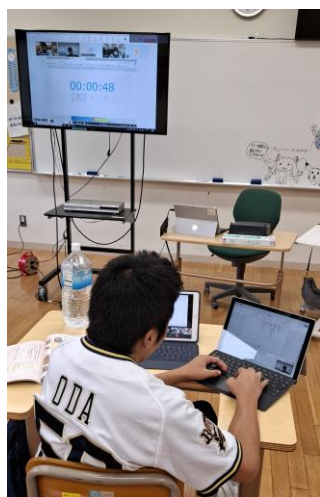


パソコンの画面と足の踏み台のスイッチが連動しています。

足でスイッチを押すと、画面のある道をどんどん進んでいき、左右から教職員が「がんばってー」「フレーフレー！」と応援している動画や音声が流れます。

一歩進むごとにカラフルな花火も打ち上がります。

デジタルを活用した学び



八王子特別支援学校、村山特別支援学校と共同で、「理科」と「道徳」でデジタル共同学習を実施しています。記録シートを作成し、学習の評価を行いながら改善を図っています。



東京都の事業「芸術教育推進事業」デジタル表現に関する芸術教育推進校の指定を受け、東京デザイナーアカデミーの講師に來校していただき、デジタルアートの授業を実施しています。

防災教育の強化

一泊二日宿泊防災訓練



一泊二日宿泊防災訓練を実施しました。日中の学習として、消防署と連携し、消火器体験、煙ハウスなどに取り組んでいます。夜は避難所設営、非常食体験を行い、翌朝、引き渡し訓練を行いました。実際の発災時を想定し、最低限の教員数で対応する訓練を行いました。



夏季休業中に、拡大危機管理研修を実施しました。福祉避難所開設を想定し、避難所設営や非常用トイレ、非常用発電機の動作研修及び非常食調理の確認などを行いました。大規模災害に備えて、教職員全員で取り組みました。

備蓄品の整備

備蓄品一覧【第二体育館】

品目	品名	数量 (L/g、本、袋、缶)	保存期限
食料	煮込みハンバーグ	100g×50袋 28箱	令和10年1月
食料	煮込みハンバーグ	100g×49袋 1箱	令和10年1月
食料	クリームシチュー	200g (5食入り) /缶 12缶 25箱	令和9年8月
食料	みそ汁	10g×200袋 8箱	令和9年8月
食料	みそ汁	10g×149袋 1箱	令和9年8月
食料	カレー (ヒートレス) 黄色シール	200g×30袋 58箱	令和9年8月
食料	カレー (ヒートレス) 黄色シール	200g×9袋 1箱	令和9年8月
食料	カレー (ヒートレス) 緑シール	200g×30袋 6箱	令和9年7月
食料	白飯 (アルファ米)	100g×50袋 68箱	令和9年12月
食料	白飯 (アルファ米)	100g×50袋 1箱	令和9年9月
食料	白飯 (アルファ米)	100g×47袋 1箱	令和9年9月
食料	五目御飯 (アルファ米)	100g×50袋 1箱	令和9年8月
食料	五目御飯 (アルファ米)	100g×47袋 1箱	令和9年8月
食料	オニオンスープ	6g×200袋 5箱	令和9年8月
食料	オニオンスープ	6g×91袋 1箱	令和9年8月
食料	クッキー (栄養機能食品)	40.4g×2種類 計80.8g 80袋 20箱	令和10年7月
食料	クッキー (栄養機能食品) クリームシチュー	40.4g×2種類 計80.8g 69袋 200g (5食分) /缶 2缶	令和10年7月
食料	飲料用水	2リットル 6本入り 46箱	令和9年10月
物資	非常災害用毛布	10枚 30箱	平成28年度納品



備蓄品全ての賞味期限を表に明記しています。非常食は、普通食・形態食の他、御家庭に協力いただき、個々の児童・生徒のアレルギー対応食を備蓄しています。



スーパーのバックヤードにあるような大型のカゴ車を導入し、1日分の食糧、飲料、衛生用品(災害用トイレ、体拭きシート等)少ない教職員体制でも
 ・誰でもどこに何があるか分かる
 ・女性教員でも運搬できるように工夫をしています。



校長室前の廊下に大規模災害時における備蓄品についての詳細を掲示しています。いつ何時起こるか分からない南海トラフ地震に備えて、生活指導部の教員不在時、どの教員でも備蓄品の保管場所がわかることや、児童・生徒の緊急時薬などの対応ができるようにしています。

地域の防災訓練への参加

11月17日(日)、本一色自治会主催の防災訓練に生活指導部教員が参加しました。様々な訓練に参加し、「自助・共助」の大切さを改めて学びました。今後も地域との連携をより深めていきます。



マンホールトイレ

下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座を設置したものです。

本一色自治会では、井戸水を用いて、マンホールトイレの水が流れる仕組みとなっています。

かまどベンチ

ベンチの座面を外すと、かまどになっています。

チャッカマンやライター等があれば、非常時に火をおこすことができます。



煙ハウス・消火器訓練

煙ハウスの体験では、実際の火災時の足場の悪さを体験することができます。

消火器を使った訓練では、地域の方々が積極的に体験していました。





通報連絡

通報連絡ブースでは、通報する際のポイントとして、正しい住所を伝えることや、もし出先での通報で住所が分からない際は、自販機や電柱などに番地が載っていること、それでも分からなければ近くに見える大きな建物などを伝えることが大事であるなどを学びました。また、火災時などは、通報した場所に留まらず速やかに避難することについても学ぶことができました。



心肺蘇生法(AED)

心肺蘇生法訓練では、心臓マッサージ、AEDの使い方について見本を見た後、実際に体験を行いました。

炊き出し訓練

地域の学生ボランティアも加わった炊き出し訓練がありました。レトルトカレー、レトルト白米などが配られます。




ソーラー発電・ガスボンベ式発電機

江戸川区では、ソーラー発電を取り入れています。ガスボンベ式発電機は、捜査が比較的簡単で、扱いやすく、本校でも導入しています。発災時、非常用の電源を確保することは医療的ケアの必要な児童・生徒の命を守るためにも必要不可欠です。

給食試食会

12月13日、両部門小学部1年生保護者対象に、給食試食会を実施しました。コロナ禍で実施できていなかったため、実に4年振りの開催となりました。

- ①安全でおいしく、児童・生徒に望ましい給食づくり
- ②安全な給食提供のための作業上での確認は必ず行います。
- ③素材の味が生きる食品を活用し、国産食材の確保に努めています。
- ④食べる機能に応じて、食物形態の違う給食（形態食）を提供しています。

5名の保護者の方に御参加いただきました。スライドを用いて、本校の給食について御説明させていただきました。

【本日の献立】

(主食) ごはん
 (主菜) 鮭のねぎみそ焼き
 (副菜) 五色和え
 (汁物) 具だくさんみそしる
 (果物) みかん



普通食の他、形態食についても紹介させていただきました。

本校の形態食は、児童・生徒の実態に合わせて、「初期食」・「中期食」・「後期食」と提供しています。これからも、安全安心でおいしい給食を児童・生徒に届けていきます。

名称	初期食	中期食	後期食	普通食
提供例				
形態食の特徴	★舌の前後運動だけで送りこみ、嚥下できるままとまり ・ママヨネズ・ヨーグルト状	★舌でつぶせる硬さ ・○絹ごし豆腐やプリン系の柔らかさ	★奥歯で軽くつぶせる硬さ ・○柔らかめのミートボール・ハンバーグ	★一般的な食事 ・○大きさで、柔らかさには考慮する。 ・○乳のみに注意し、切り方の工夫が必要
食フードの目安	かななくてよい	舌でつぶせる	歯ぐきでかめる* (*状況に応じて舌にかめる)	容易にかめる

